

歌はひかり 歌はちから
ヤニの月のおくりもの②

林光・カンタータ「脱出」を 公募合唱団で歌うコンサート



寺嶋 陸也

東京藝術大学音楽学部作曲科卒、同大学院修了。97年東京都現代美術館でのポンピドー・コレクション展開催記念サイト連続コンサート「伝統の変装」、03年パリ日本文化会館における作品個展「東洋・西洋の音樂の交流」などは高く評価され、06年にはタンブルウッド音樂祭に招かれボストン交響樂団のメンバーと自作を含む室内樂を演奏した。作曲、ピアノ演奏のほか、びわ湖ホールのオペラ公演の指揮など、活動は多方面にわたる。オペラ『ヒト・マル』『ガリレイの生涯』『未摘花』、カンタータ『伊邪那岐・伊邪那美』、合唱ファンタジア『オホホ島奇譚』、ヴォードヴィル『タバコの害について』、『尺八・二十絃箏と管弦樂のための協奏曲』など作品多数。「大陸・半島・島/寺嶋陸也作品集」(ALCD9026)、「二月から十一月への愛のうた」(VICS61092)、「寺嶋陸也 plays 林光」(NARD5034)など、多くのCDがある。

ホームページ <http://www.gregorio.jp/terashima/>

演奏者のご紹介

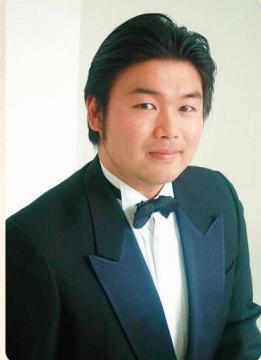
中嶋 康子



大阪音楽大学大学院修了。在学中は歌曲や宗教音樂を中心にして学ぶ。その後ドイツに渡り研鑽を積み、帰国後「第九」「メサイア」「カルミナ・ブランーナ」などのソリストを務める。2008年より6年間びわ湖ホール声樂アンサンブルに所属し、オペラやコンサートに多数出演した。卒団後は兵庫県立芸術文化センター“ワンコイン・コンサート”、

新国立劇場“オペラアリア・コンサート”等に出演し、精力的に演奏活動を続けている。ウォーカルユニット“IL DONGRI”メンバー。びわ湖ホール声樂アンサンブル・ソロ登録メンバー。

松原 友



東京藝術大学卒業。同大学院修了。ロームミュージックファンデーション、野村財団奨学生としてミュンヘン音楽学院、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業。第51回全国学生音樂コンクール第1位。第14回松方音樂賞、第81回、第83回日本音樂コンクール第3位・岩谷賞受賞。これまでミュンヘン放送管弦樂団、新日本フィル

ハーモニー交響樂団、大阪フィルハーモニー交響樂団等のオーケストラと共に演。NHKリサイタルノヴァ、ルートリエンナー、小澤征爾音樂塾、サイトウキネンフェスティバル、PMF音樂祭に出演。小澤征爾、ウルフ・シルマー、準・メルクル、インゴ・メツツマッハ、大植英次、山田和樹他、国際的な指揮者と共に演を重ねる。同志社女子大学、相愛大学、大阪音樂大学、夕陽丘高校音樂科各非常勤講師。二期会会員。

新井 純



俳優座付属養成所を卒業後、自由劇場を経て、1968年演劇センター68/71(現・黒テント)を結成、大型のテント劇場で全国各地への移動公演を行い、演劇界に一大ムーブメントを起こす。75年には「阿部定の犬」の主演で紀伊国屋演劇賞を受賞。結城人形座「マクベス」(ペオグランード国際演劇祭特別賞)のマクベス婦人役で北欧などを

歴訪。95年黒テントを退団しフリーとなる。01年には江守徹、今井朋彦と「コペンハーゲン」(新国立劇場)で共演、好評を博す。80作を超える舞台出演のほか林光、高橋悠治、三宅榛名等、多くの音樂家のジョイントコンサート、語りの会、W.S.へと活動の場を広げている。著書に「風の舞台」(筑摩書房85年刊)、CD「恋はやさし野辺の花よ」、林光[パリ1923]

西岡茂樹・カンタータ「脱出」2016合唱団・前田裕佳(練習ピアノ)



西岡茂樹 1955年兵庫県生まれ。合唱指揮を田中信昭、須賀敬一の両氏に師事。大阪の老舗合唱団である「豊中混声合唱団」、その姉妹団体の「豊中少年少女合唱団」、「豊中ユース合唱団」のファミリーを核として、女声合唱団あい(山口県周南市)、女声合唱団Stella(兵庫県三田市)、関西大学グリークラブなどにおいて指揮者を務める。指揮活動の最大の関心は、「世界に誇ることができる日本固有の合唱芸術の創造」にあり、主として現代日本の創作家の意欲的な作品を、委嘱初演を含めて取り上げ続けている。寺嶋陸也との協働も多い。現在、関西合唱連盟理事、大阪府合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会関西支部委員、21世紀の合唱を考える会「音楽樹」会員、奈良産業大学教授。

カンタータ「脱出」2016合唱団 公募により大阪音樂教育の会、東京音樂教育の会など全国各地の有志や、豊中混声合唱団などの合唱団員らで構成。西岡茂樹の合唱指揮、前田裕佳の練習ピアノにより2016年1月から定期練習を重ねて、



その大合唱によりカンタータ「脱出」大阪初演の成功をめざしている。

前田裕佳 神戸大学大学院修了(M.A.)。パリ・エコールノルマル音樂院(ピアノ科)にてディプロムを授与される。演奏活動は多岐に渡り、NHK学園(西宮)でのフランス音樂の講座と演奏やテグ国際現代音樂祭出演等。また、合唱の伴奏を意欲的に行う。また2015年より現代音樂を中心としたリサイタルシリーズを開始。神戸大学、梅花女子大学各講師。

大阪フィルハーモニー交響樂団

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響樂団」という名称で生まれ、1950年社団法人化、1960年に改組、2012年4月から「公益社団法人大阪フィルハーモニー協会」となる。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が常任指揮者・音樂監督を務め、2003年に大植英次が第2代音樂監督に就任、2012年4月より桂冠指揮者となる。2014年4月より井上道義を首席指揮者に迎え、「定期演奏会」(年10回、毎回2公演開催)をフェスティバルホールに移して開催。そのほか、平日昼の演奏会「マチネ・シンフォニー」、大阪・御堂筋や中之島を中心とした音樂イベント「大阪クラシック」など幅広い活動を行なっている。また大阪以外の全国各地でも文化振興に貢献しており、数回にわたるヨーロッパ、カナダ、アメリカ、韓国、台湾での演奏旅行においても絶賛を博した。

<http://www.osaka-phil.com/>



©飯島隆